

普及だより

ふじつ

第113号
発行・編集
杵藤農林事務所
藤津農業
振興センター
TEL0954-62-5221



最大価値での うれしの茶の提供を目指して

松田二郎さん（31歳）

嬉野市で茶園12aとお茶をベースとしたBARを経営されている松田二郎さんをご紹介します。

松田さんは長崎県佐世保市の生まれ。大学時代のアルバイトで「うれしの茶」に関わったことをきっかけに、嬉野のお茶農家さんにお世話になりながら、お茶の研修を開始され、5年後の令和2年に就農されました。

就農後、松田さんは全国的にも厳しいといわれる茶業情勢の中で、SNSや各種メディアを活用した販売確保や、お茶の新たな楽しみ方を提案するカフェBARの開業など、最大価値でのうれしの茶の提供を目指して、新たなことに勢力的に取り組まれてきました。

その取り組みの経過を今年2月に開催された

「佐賀県農業青年冬季のつどい」にて、藤津地区農村青少年クラブ連絡協議会（4Hクラブ）代表として発表されたところ、「プロジェクト発表」部門で最優秀賞を獲得され、今年7月に開催される九州・沖縄地区青年農業者会議への佐賀県代表に選出されました。

松田さんは「今後も自分が作ったこだわりのお茶を最大価値で消費者に届けて、栽培と直売の新しい新規就農者のモデルとなれる様、これから更なる研鑽を通じて、嬉野や全国のお茶の発展に貢献できるよう活動を続けていきたい」と今後の抱負を述べられました。

今後ますますの活躍が期待されます。

藤津農業振興センター 活動方針

県では、「磨き、稼ぎ、つながる農業の確立」と「活力ある農村の実現」を目指し、「さが園芸888運動」をはじめとする各種施策を展開しています。当振興センターにおいても、管内の現状と課題を踏まえ、地域の特性である気象や土壌、地理的要件などの強みを活かしながら「豊かな自然 磨き輝き次世代につなぐ 藤津の農業・農村」を目標に、2つの県重点課題、1つの地域プロジェクトおよび8つの地域課題を設定し、管内農業のさらなる発展と農村地域の活性化に向けた普及活動に取り組んでまいります。

活動に当たっては、農家の皆さんや関係機関との連携が欠かせないことから、引き続き御支援御協力をお願いいたします。



センター長
瀬尾裕一

受賞おめでとうございます

【祝】 農林水産大臣賞受賞 <果樹コン技術部門で橋川夫妻>

令和5年度佐賀県果樹技術・経営コンクールの技術部門（品目：露地みかん）において、鹿島市の橋川英正氏・タツ子氏が農林水産大臣賞を受賞されました。

審査講評の中では、①みかん「根域制限栽培」をはじめ、県育成新品種である「佐賀果試35号」を地域に先駆けて導入するとともに、高品質安定生産を実践することで、地域の模範となり、カンキツの生産振興に大きく貢献していること。②夫婦で常に話し合い、目指すべき目標を共有しながら、その実現に向けて、役割分担を明確にし、農業経営に取り組んでいること。以上の2点が特に高い評価を受けました。

今回、夫婦連名での受賞であり、家族経営のモデルとして、当地区の農業振興において、益々の活躍が期待されているところです。



藤津地区の4Hクラブ員がプロジェクト発表で県代表に選ばれました!

令和5年度佐賀県農業青年冬季のつどいが2月14日（水）にゆめぶらっと小城で開催されました。藤津地区代表として、「プロジェクト発表の部」には、嬉野市の松田二郎さん（茶）、「農業青年の提言の部」には、鹿島市の佐々木将竜さん（畜産）が出演されました。堂々とした発表で、松田さんは最優秀賞、佐々木さんは優秀賞に輝きました。最優秀賞の松田さんは今年7月に宮崎県で開催予定の「九州・沖縄地区青年農業者会議」で佐賀県代表として発表されます。

全国大会目指して頑張ってください!





「うれしの茶」 連続日本一に向けて、手摘み会を開催

嬉野市のお茶農家 白川稔さんの茶畑でうれしの茶 新茶の手摘み会が開催されました。園主、地元JA、市役所、県機関から手摘みの協力を呼び掛けたところ、一般参加者、地元サッカーチームの他、地域のお茶農家仲間、関係者を含め総勢 約320名に参加していただきました。ご協力ありがとうございました。

皆さん、丁寧に1芯2葉で摘み取られ、約70kgの香り高い新芽が収穫できました。

今回、手摘みしたお茶は10月に静岡県で開催される全国茶品評会に出点される予定です。昨年に引き続き、蒸し製玉緑茶部門での2年連続の産地賞及び農林水産大臣賞の獲得に向けて、期待が高まります。



JAさがみどり地区いちご部会でトレーナー制度が進行中

みどり地区いちご部会では、アンケート調査結果から今後10年で生産者が半減することが明らかとなりました。そこで、イチゴのトレーニングファームがない藤津地区で新規者確保を進める第一手として、部会内でトレーナーを選定し、研修の受入体制を整える運びとなりました。

また、太良町では園芸団地の整備を進めており、団地内にミニトレーニングファームをR6年度に建設し、研修生の受入れと団地内での就農促進を図る予定です。

今後、就農フェア等でPRを行い、部会と関係機関一丸となって、新規者確保および育成を進めていきます。



選出されたトレーナー



川原イチゴ園芸団地整備計画

直播タマネギ栽培で省力化

藤津管内では、タマネギ種子を畦に直接播種する直播タマネギ栽培の実証に取り組んでいます。直播栽培は育苗にかかる資材費や機械費を削減でき、定植の作業も不要となりますので、作業時間は移植栽培と比較して苗取りや定植を行わないため約7割程度に省力が可能です。播種は通常の移植栽培と同様の株間で播種し、管理は通常通り行いますが、除草剤等は直播栽培に登録のある薬剤のみ使用可能で、佐賀県では鹿島市のほかに白石町や伊万里市などでも取り組んでいます。

発芽率のさらなる安定化など解決すべき課題はありますが、今後も技術確立へ向けて試験研究機関やメーカー等と連携して取り組んでいきます。



直播作業の様子



直播栽培の貴錦

地域トピックス トマト栽培の技術研修が始まります ～トマトレファ入校式が開催されました～

令和6年度は4月19日に「JAさがみどり地区トレーニングファーム」の新たな研修生6名が入校しました。きゅうり第8期生4名・トマト第5期生2名の農業技術研修が武雄と鹿島のそれぞれのトレーニングファーム（TF）で開始されます。

鹿島のトマトTFでは、統合環境制御設備を備えた耐候性高軒高ハウスを活用しながら関係機関と検討したカリキュラムをもとに5月1日より研修をスタートさせています。

トマトの技術習得はもとより個別の就農ビジョンを明確にすることも目的に、JAさがトマト部会や関係機関と連携しながら農地確保や施設整備についても支援を行う予定です。

鹿島市と嬉野市では農業は成長産業と捉え、園芸団地の整備をはじめとした就農しやすい環境づくりに取り組まれており、入校された研修生への期待の言葉が聞かれました。



募集案内 令和7年度農業大学校学生募集

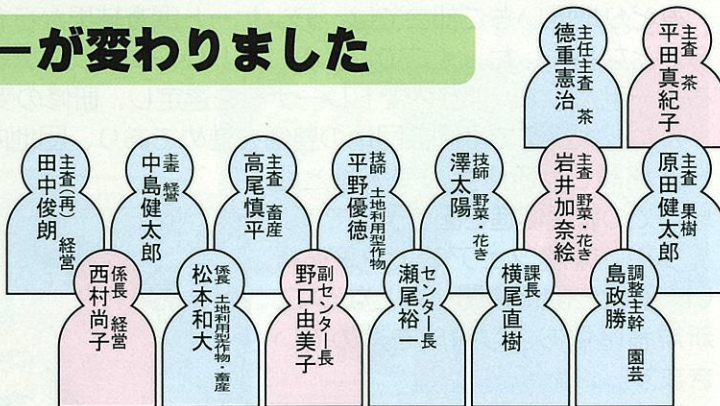
今年度も佐賀県農業大学校の学生募集が行われます。佐賀で農業を志す方を募集しています。

詳しくは、☎0952-45-2144へお問い合わせください。

オープンキャンパス（高校生・社会人向け）①令和6年7月7日（日） ②令和6年8月24日（土）
推薦入学試験日：令和6年10月18日（金） 一般入学試験日：令和6年12月6日（金）

職員紹介

メンバーが変わりました



◎お世話になりました。 川崎センター長→園芸農産課へ 八田課長→三神農業振興センターへ
篠倉係長→農業大学校へ 井村技師→杵島農業振興センターへ
野々村技師→流通・貿易課へ

全国農業担い手サミットが開催されます！

第26回全国農業担い手サミットinさが

令和7年 1/22(水) ~ 1/23(木) 佐賀県 初開催

全国各地の農業者が佐賀に集う2日間

県外の参加者と大いに語らい佐賀大会を盛り上げよう！
半世紀に1度のまたとない機会、藤津地区の皆様の参加をお待ちしています。

令和7年1月22日（水）
13:30～ 全体交流会 SAGAアリーナ（佐賀市）
18:00～ 地域交流会 鹿島市内 [予定]

【参加募集】令和6年8月上旬～10月末（予定）



磨き高め継なげる日本農業
～集え担い手！維新の地佐賀へ～